



6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 肉用牛農家等による大規模肉用牛団地の整備

指標	指標名	大規模肉用牛団地の整備数							指標の種類
	指標式	県内に整備される大規模肉用牛団地の整備数を指標とする。肉用牛繁殖経営で概ね100頭以上、肉用牛肥育経営で概ね500頭以上の生産施設とする。							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a		2	0	1	1			
	実績b	1	2	データ等の出典					
	東北 全国	畜産振興課調べ							
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 04月 翌々年度 月									

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由  
 \_\_\_\_\_  
 見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)  
 \_\_\_\_\_

事業の必要性

**現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性**  
 新たな県産牛ブランド「秋田牛」を確立するためには、本県肉用牛の生産基盤の強化が必要であり、大規模な肉用牛生産施設の整備を推進する必要がある。施設整備を希望する肉用牛農家に対して、的確なアドバイスを行い、施設整備に向け、円滑な事業の推進を図ることと、早期の経営安定を図ることを目的としている。

**住民ニーズに照らした事業の必要性**  
 大規模な肉用牛生産施設の整備を希望する肉用牛農家に対して、施設整備に向けた的確なアドバイスを行い、事業計画の作成等を支援するとともに、早期の経営安定を図るため、施設整備等に要する経費に対して助成する本事業が必要である。

**事業の県関与の必要性**  
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

肉用牛農家による大規模な肉用牛生産施設の整備については、県、市町村、JA等と連携し推進する必要がある。また、実施主体である肉用牛農家の早期経営安定を図るため、国庫補助対象外となる附帯工事等に対しは、県と市町村の協調助成により支援する必要がある。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
	重点事業 其他